

## U-12九州ジュニアカップ2018大会要項

### 1. 目的

日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。

サッカーの力で九州をさらに活性化し、全国そして世界に羽ばたいていける子どもたちを育てていくことを目指す。

※2018年度は、2019年度以降の本大会に向けたU-12九州ジュニアカップのプレ大会とする。

### 2. 名称

U-12九州ジュニアカップ2018

### 3. 主催

U-12九州ジュニアカップ2018実行委員会

### 4. 主管

一般社団法人九州サッカー協会、一般社団法人佐賀県サッカー協会、(株)フロムワン

### 5. 特別協賛

※調整中

### 6. 協賛

SOCCER KING、スカパーJSAT株式会社(予定)、※その他 調整中

### 7. 日程・会場

開催日：2018年6月9日(土)、10日(日)

会場：鳥栖市陸上競技場(予定) / ベストアメニティスタジアム(予定)

開会式：2018年6月9日(土) 12:30～ 鳥栖市陸上競技場(予定)

代表者会議：2018年6月9日(土) 13:00～ 鳥栖市陸上競技場(予定)

### 8. 参加資格

(1) 参加チームは、県単位とし、県サッカー協会選出の(トレセン)選抜チームとする。

(2) 参加選手は、大会実施年度JFA第4種登録を完了した小学6年生の選手とする。

(3) 参加選手は、健康であり、且つ保護者の同意を得ていること。

### 9. 参加チームとその数

参加チームは、各県1チームの計8チームとする。なお、欠員および増員が生じた場合には大会実行委員会で協議する。

### 10. 大会形式

8チームによるトーナメント方式とし、各チームが4試合行い順位を決定する。

(※10にあるチームの欠増員が発生した場合、実行委員会で協議し、大会形式を変更の上、速やかに各県FAに通達するものとする。)

## 11. 競技規則

大会実施年度（公財）日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。

## 12. 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

### (1) 競技のフィールド

フィールドの表面は、天然芝とする。サイズは原則として以下のとおりとする。

フィールドの大きさ：長さ（タッチライン）68m×幅（ゴールライン）50m

ペナルティーエリア：12m

ペナルティーマーク：8m

ペナルティーアークの半径：7m

ゴールエリア：4m

センターサークルの半径：7m

### (2) ボール

試合球は株式会社モルテン「ヴァンタッジオ 5000 キッズ (F4V5000-R・4号球)」とする。

（※調整中）

### (3) 競技者の数

競技者の数：8名（内1名はゴールキーパー）

交代要員の数：4名以上8名以下

### (4) チーム役員の数

ベンチ入りできるチーム役員の数：2名以上3名以下

### (5) 審判員

主審1名、補助審判1名により行う。

### (6) テクニカルエリア

設置しない。

### (7) 競技者の用具

① ユニフォーム 参加チームは、正副2色のユニフォームを用意すること。用意できない場合の対応は、主管県サッカー協会が設定する。

② 選手番号 参加選手ごとに大会登録された番号を使用する。

### (8) 試合時間

① 前後半各20分とし、ハーフタイムのインターバルは、選手入れ替えに要する時間のみとする。

② 試合時間内に勝敗の決しない場合はペナルティーキック方式により勝利チームを決定する。ペナルティーキック方式に入る前のインターバルは1分とする。

③ アディショナルタイムの表示は行わない。

### (9) 競技者の出場制限

① 事故・ケガ等で出場困難になった場合を除き、参加選手全員が前半または後半を通じて出場する。

② 前半に出場していない選手は後半に出場する。前半では交代して退いた選手は再び出場することはできない（自由な交代ではない）。

③ 同一選手の出場は前半または後半だけとし、前後半を通じて出場することはできない。なお、事故・ケガ等で出場困難な選手が発生し、出場可能な選手が15人以下になったときに限り、前後半を通じて出場することを認めるが、大会期間中1選手1試合までを原則とする。

### (10) 負傷者の対応

主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

## 13. 懲罰